

第5期地域福祉計画骨子（案）について

●佐賀市地域福祉計画とは

計画の位置づけ

- ・令和7年度で第4期地域福祉計画（以下「計画」）が最終年度となることから、本市の地域福祉の推進に関し、共通して取り組む事項を一体的に定めるもの



策定の根拠

社会福祉法第107条に基づき策定

（市町村地域福祉計画）
第百七条 市町村は、地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定める計画（以下「市町村地域福祉計画」という。）を策定するよう努めるものとする。

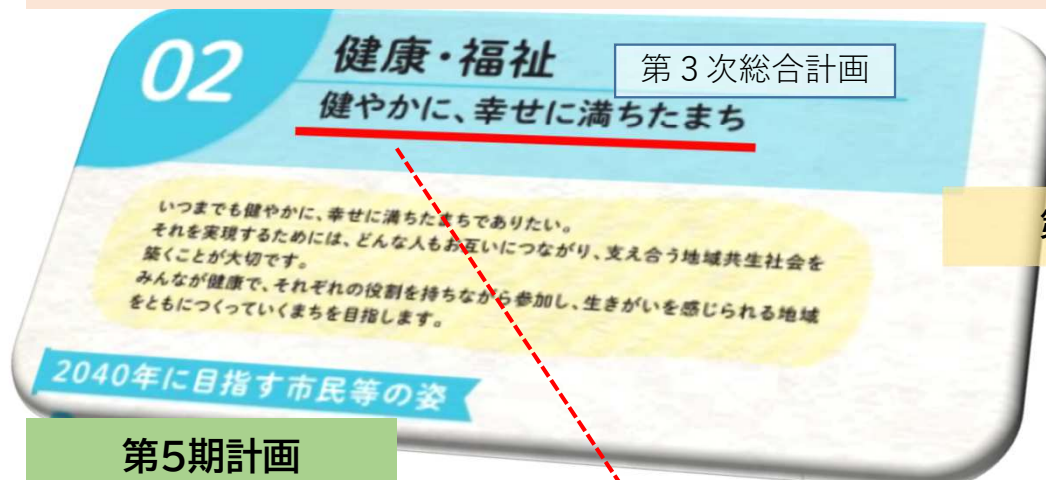
第5期計画の特徴

- ・ 第3次総合計画との整合性を図りながら策定
- ・ 佐賀市社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」と一体的に策定（第4期計画と同様）
- 新** ・ 地域福祉計画と関連の深い「地方再犯防止推進計画」、「重層的支援体制整備事業実施計画」を一体的に策定

●目指す姿（基本理念）

第4期計画

みんなが参加、みんなで福祉、みんなの安心 笑顔が輝く佐賀のまち
～地域共生社会の実現を目指して～



第3次総合計画の考え方を基本理念に反映

第5期計画

みんながつながる、支え合う、認め合う
健やかに、幸せに満ちたまち
～地域共生社会の実現を目指して～

●計画の基本目標の設定

■基本理念（目指す姿）の実現に向けて、総合計画の施策と整合を取りながら、4つの基本目標を設定

第3次総合計画（健康・福祉）の施策

- みんなが地域づくりに参加できること
- 多様な手段による相談の受け止めや支援体制があること
- 福祉サービスにつながる体制と仕組みがあること

①地域福祉への意識づくりと担い手育成

【アンケート回答】

- ・地域活動に参加したい（約5割）
- ・福祉への関心がある（約7割）

②地域のつながりの再構築と支え合いの創出

【アンケート回答】

- ・住民同士の助け合い・支え合いが必要（約8割）
- ・隣近所との付き合いを大切にしたい（約5割）

③福祉サービスにつながる仕組みづくりの強化

【アンケート回答】

- ・福祉サービスの情報が入手できていない（約8割）
- ・在宅生活を継続するためのサービスの充実が必要

重層的支援体制整備事業実施計画

④誰もが安心して暮らせる体制づくり

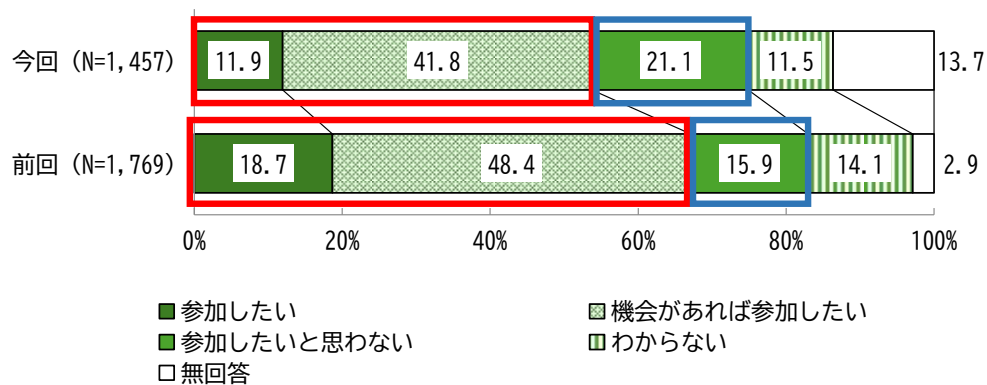
【アンケート回答】

- ・災害時の避難ができない・わからない（約6割）
- ・再犯防止の取り組みに前向きな意見（約7割）

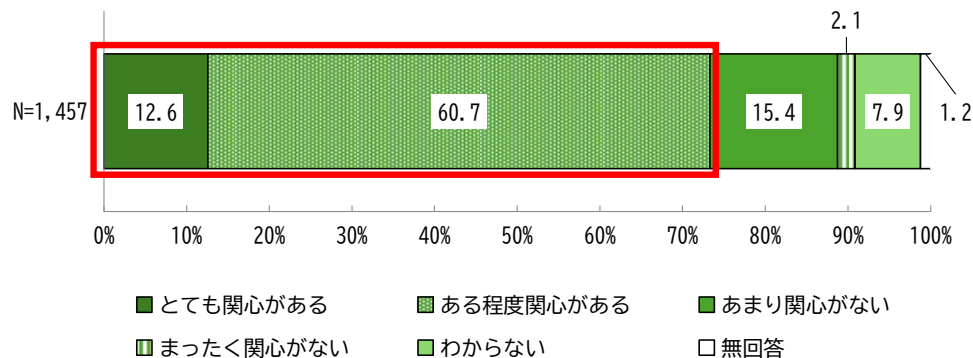
再犯防止推進計画

●計画の基本目標①

■地域活動に参加したいか



■福祉について関心があるか



アンケート結果から

《地域活動に参加したいか》

- ・ 50%以上の市民が「参加したい」「機会があれば参加したい」と思っている。
- ・ 「参加したい」「機会があれば参加したい」が前回から13.4%減少している。

《福祉について関心があるか》

- ・ 「とても関心がある」「ある程度関心がある」との回答が73.3%となっており、福祉についての住民の関心は高い

必要なこと

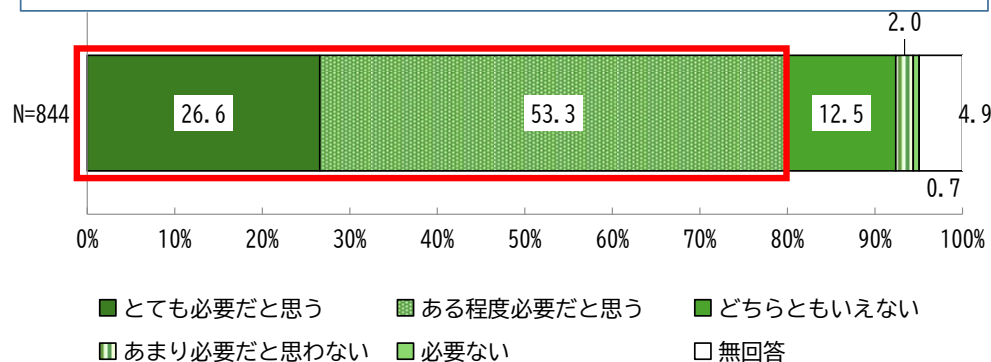
- 住民が「参加したい」と思う地域福祉活動の展開
- 地域福祉活動を主導する担い手の育成
- 福祉への関心の高さを生かす福祉教育・学習の推進

基本目標①

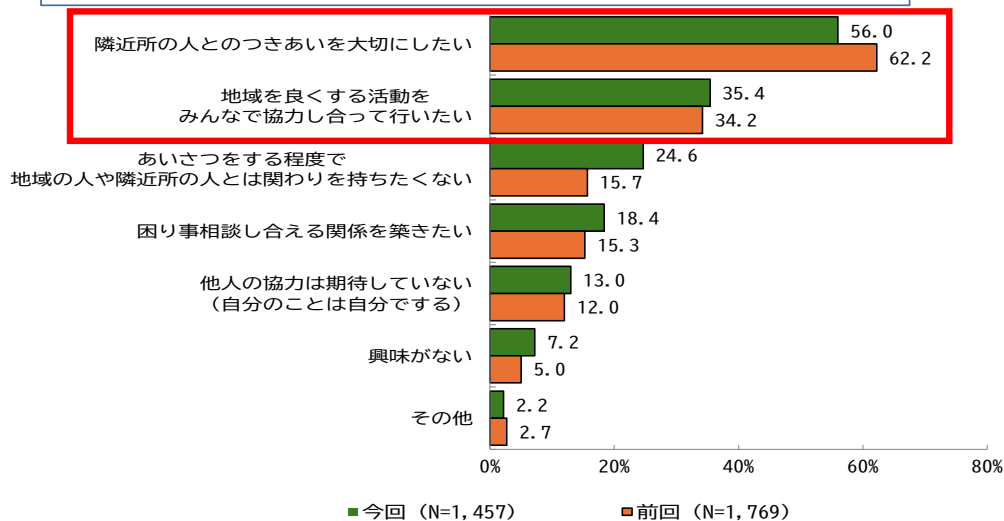
地域福祉への意識づくりと担い手育成

●計画の基本目標②

■住民同士の助け合いや支え合いの必要性についてどう思うか



■地域での人との関わり方に対する考え



アンケート結果から

《住民同士の助け合いや支え合いの必要性》

- ・「とても必要だと思う」「ある程度必要だと思う」と回答した市民が全体の約8割を占める。

《地域での人との関わり方に対する考え》

- ・半数以上の市民が「隣近所の人との付き合いを大切にしたい」と感じている。
- ・「地域を良くする活動をみんなで協力し合って行いたい」が「あいさつをする程度で地域の人や隣近所の人とはかかわりを持ちたくない」より多い。

必要なこと

- 地域福祉の向上のための住民同士の助け合い、支え合いの推進
- 住民同士の関わり、つながりのきっかけづくり

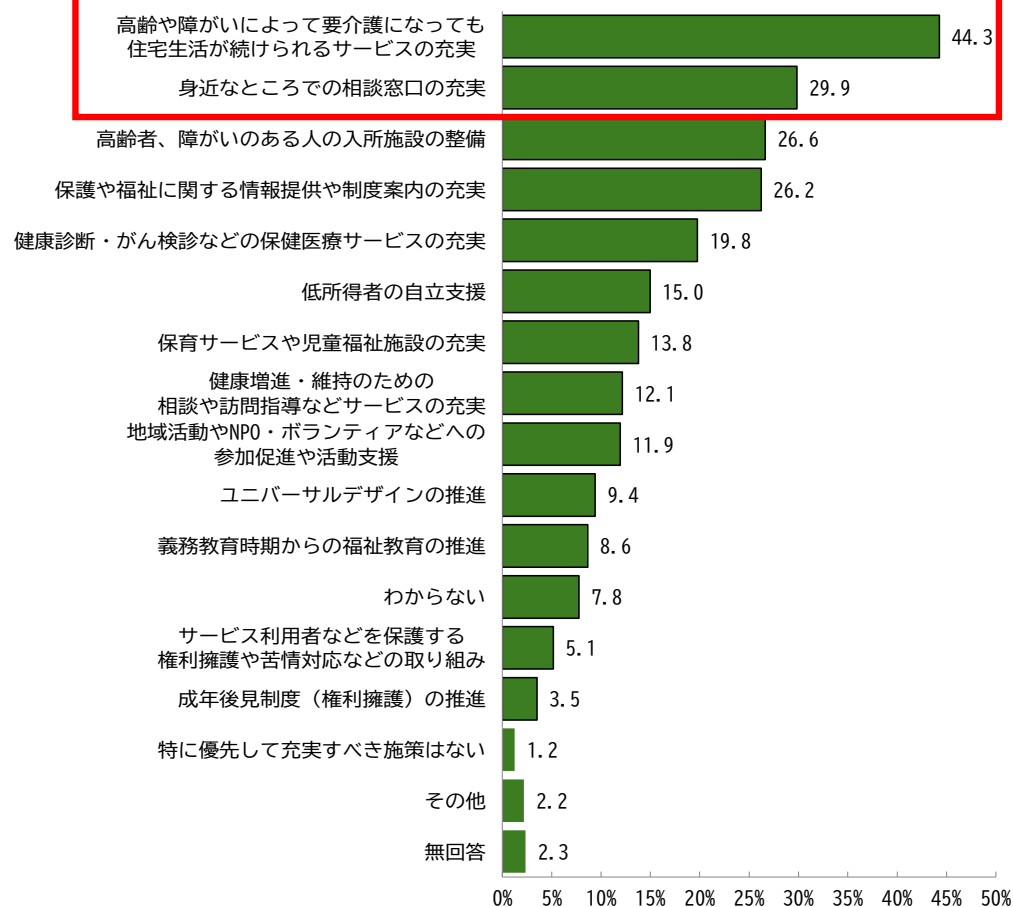
基本目標②

つながりの再構築と支え合いの創出

●計画の基本目標③

■今後、佐賀市が取組むべき施策

N=1,457



アンケート結果から

《今後、佐賀市が取組むべき施策》

- ・最も多いのが「高齢や障がいによって要介護になっても在宅生活が続けられるサービスの充実」となっている。次いで「身近なところでの相談窓口の充実」が多い。

《「福祉サービス」に関する情報をどの程度入手できているか》

- ・約7割の市民が福祉サービスに関する情報を「あまり入手できていない（45.6%）」「入手できていない（28.6%）」と感じている。

必要なこと

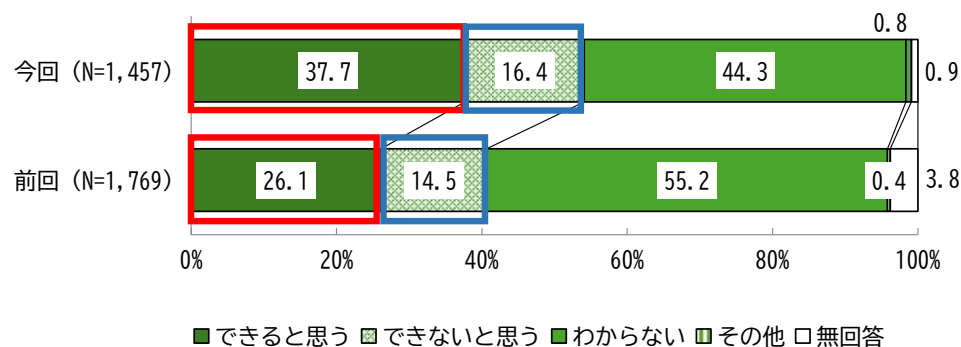
- 在宅生活を継続するための課題を解決する仕組みづくり
- 福祉サービスに関する情報の発信

基本目標③

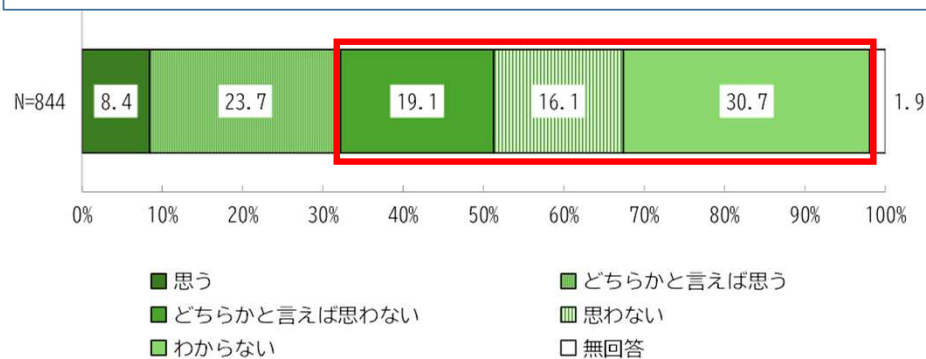
福祉サービスにつながる仕組みづくりの強化

●計画の基本目標④

■緊急事態が発生したとき、適切に避難できると思うか



■犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思うか



アンケート結果から

《緊急事態が発生したとき、適切に避難できるか》

- ・「できると思う」との回答が前回からポイント上昇しているが、「できないと思う」との回答も1.9ポイント上昇している。

《犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思うか》

- ・「どちらかといえば思わない（19.1%）」「思わない（16.1%）」「わからない（30.7%）」と回答した市民が65.9%となっている。
- ・『再犯防止のための誰一人取り残さない社会の実現』について、約7割の市民が大切であると感じている。

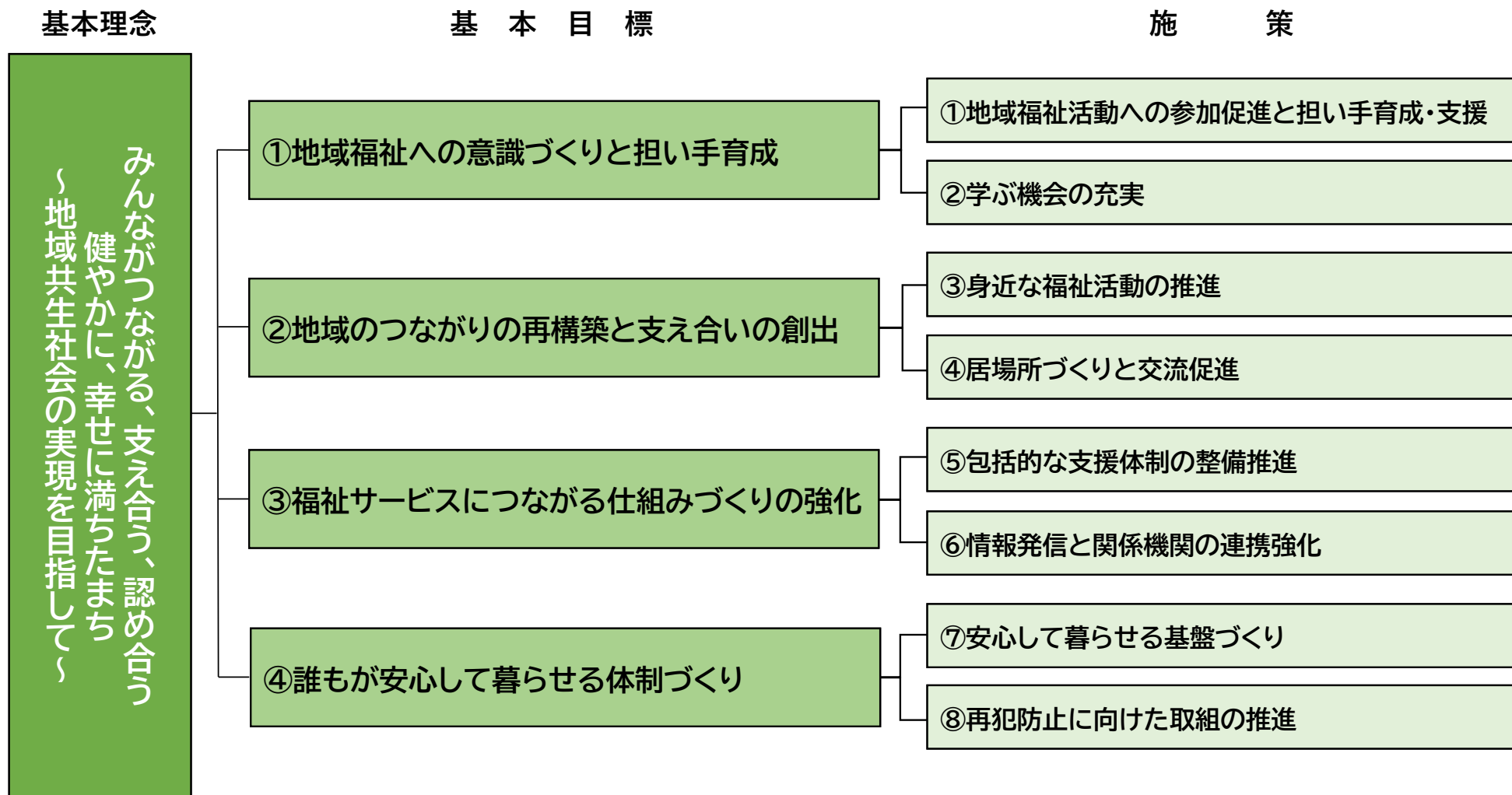
必要なこと

- 住民が安心して暮らすことができる基盤整備
- 地域の中で取り残されることを防ぐ各種施策の実施、啓発活動

基本目標④

誰もが安心して暮らせる体制づくり

●計画の体系



●地域福祉推進のための4つの視点

■各取組は以下の4つの視点で展開（第4期計画の考え方を承継）

自助

個人や家族による助け合い・支え合い（最も身近な個人や家族が解決にあたる）

互助

身近な人間関係のなかでの自発的な制度化されていない助け合い・支え合い

共助

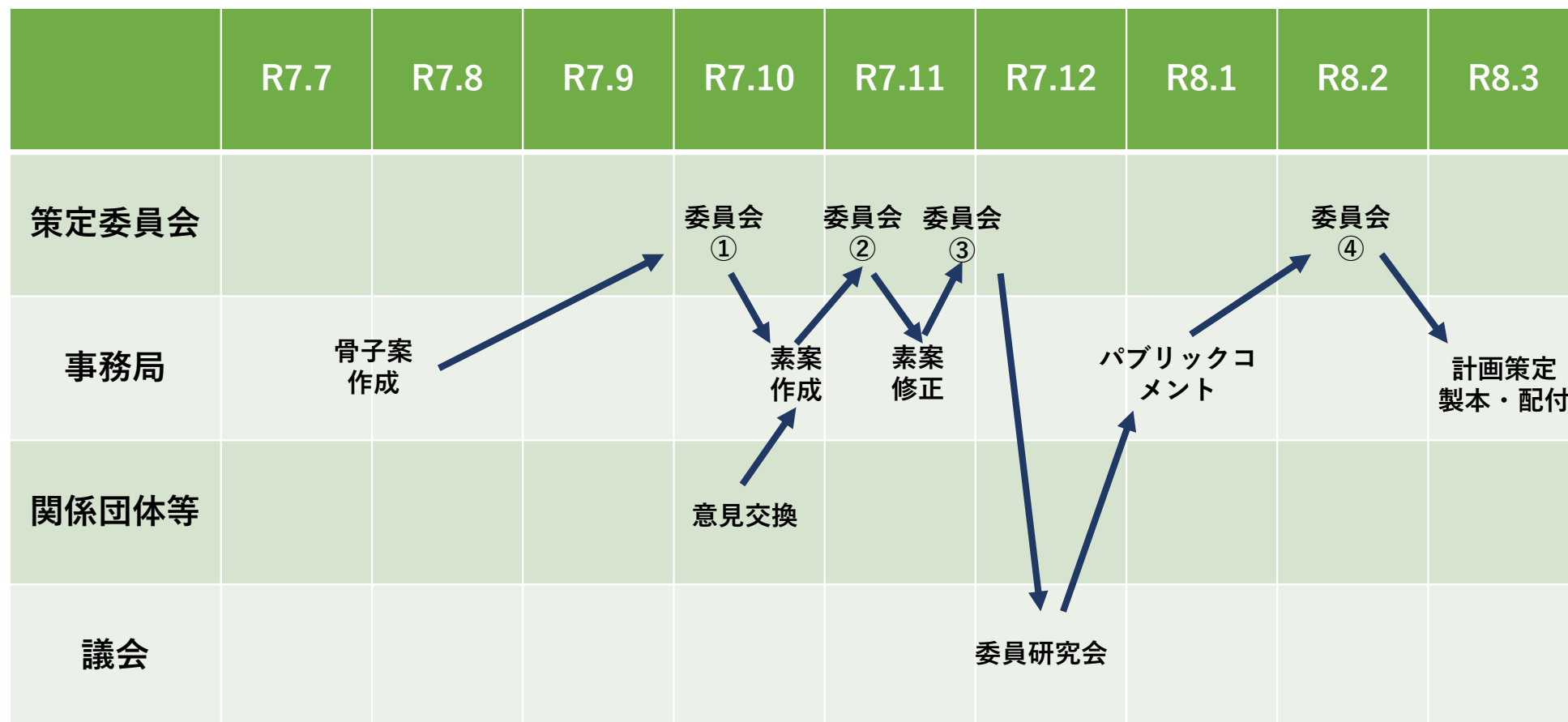
地域で暮らす人たちや地域の事業所、行政等が協働しながら、組織的に協力し合う制度化された助け合い・支え合い

公助

保健・福祉・医療その他の関連する施策に基づく、公的な制度としての福祉サービスの提供による支え

この4つの視点で整理した取組を展開

●策定スケジュール



●ヒアリング予定団体

団体名	主な活動内容
主要な地域団体	
自治会協議会	様々(防犯・防災、環境美化等)な地域活動
民生委員・児童委員協議会	地域における相談相手、専門機関へのつなぎ役
校区(地区)社会福祉協議会	身近な福祉活動の推進
地域包括支援センター(おたっしゃ本舗)	高齢者に対する介護や健康に関する総合相談窓口
市民活動団体	
たすきゅー金立	有償ボランティア
NPO法人 poco a bocca(タネパラ部)	引きこもり支援
ほっこり食堂	外国人交流・地域食堂・居場所づくり
心の居場所 みんなdeつくろう会	子ども食堂・居場所づくり
ケアマミ	障がい児(者)及び家族のつながりの場
再犯防止関係	
佐賀県地域定着支援センター	罪に問われた人が社会とつながり直すためのサポート
佐賀ダルク	薬物依存症回復支援
ギャンブル依存リハビリ施設 COBYPLAN	ギャンブル依存脱却支援